

意見交換会における主な意見の要旨
(名勝哲学堂公園保存活用計画(案)概要)

1 開催日時及び会場、参加人数

回	日 時	会 場	参加人数
第1回	2月13日(月)19時00分～21時00分	中野区役所	17人
第2回	2月19日(日)14時00分～16時00分	江古田区民活動センター	21人

2 意見交換会で寄せられた主な意見、質問等 区の考え方について

No.	主な意見、質問等	区の考え方
1	都市化の進んだ中野区にあって、緑は貴重な存在である。文化財と自然、その両者を生かす工夫をしてもらいたい。	古建築物といった文化財だけでなく、それらを取り巻く緑との調和・共存は大切であると考えている。今後も両者が共に生かされるよう努めていく。
2	哲学堂公園では野生の珍しい動植物が確認されており、自然のポテンシャルが高い場所だと思う。自然環境に詳しい専門家、事業者を今後の活用の際に採り入れてほしい。	哲学堂公園は、生物多様性について学ぶことができる貴重な場であると認識している。今後の活用にも際しても、専門的な知見も生かしていけるようにしていく。
3	サクラについてはどう考えているのか。今のまま維持してほしいし、充実してほしいとも考える。	サクラについては、今後、樹木調査を行い、必要に応じた更新も含め適切に維持していきたい。
4	既存の樹木を区民に説明することなく伐採することはやめてほしい。	樹木の整理等については、理由を示すなど、事前の説明を行っていく。
5	落ち葉を清掃で取り除いてしまうと、土が乾き、栄養が流れてしまう。土を含めた管理に配慮してほしい。	ご意見として参考にさせていただく。
6	児童遊園の樹木は切り倒されるという予定は、どうなったのか。	児童遊園の場所に学習展示の施設を建てる計画が以前あったが、保存活用計画(案)では、枯損や衰弱がなければ、現在の樹木を保存する考えである。
7	児童遊園の遊具が少ない。もっと充実してほしい。	児童遊園の遊具は安全基準に配慮したうえで、遊べる場所や機能の確保を検討していければと考える。

No.	主な意見、質問等	区の考え方
8	児童遊園は、遊具を多く設置すべき遊び場ではないと思う。走り回れるスペースは確保し、余分な遊具は設けないでほしい。	地域住民の声も聞きつつ整備していきたい。
9	哲学堂公園の再整備工事は急ぐ案件だとは思えない。物価が落ち着いてから着手する方がいいのではないか。	保存活用計画の策定後に、再整備計画を策定することになっており、工事の実施スケジュールはその際に考えていくことになる。
10	今後の再整備にあたり、工事費の概算や依頼先の会社は既に決まっているのか。	今後、再整備計画を策定していくことになり、現時点では工事の経費や請け負う会社等は未定である。
11	さくらの広場の柵が低いこと、中野通りから哲学堂公園へアクセスする際、自転車の交通量が多いこと、またエントランス以外の公園の入口からアクセスするには車が停車していることなどは危険だと思うので、対策をとってほしい。	利用者の安全に支障が生じないように今後も検討していきたい。
12	整備の課題として、駐車場・駐輪場について記載があるが、今後はどのように整備するのか。また車で来園する人はどのような層なのか。	駐車場・駐輪場については、利用実態を把握し、適正な配置等について今後、検討していきたい。車で来園者は、運動施設の利用者や公園の見学者などさまざまである。
13	妙正寺川の側にある柵だが、エノキの幹を回り込むように設けられている。このような配慮の行き届いた方法を今後も継承してほしい。	風致景観の保全に合った方法は、今後も取り入れていきたい。
14	区民にきちんとした説明がないうちに、哲学堂の野球場は人工芝のグラウンドとなったが、人工芝は生物多様性を重んじる方法とは言えない。バリアフリー化も事前に説明をしてもらいたい。	哲学堂公園の整備に関しては、関係所管とも連携を取り、適切に対応していく。
15	バリアフリー化を図り、毀損した箇所を直してほしい。ただ、過度にやると、公園の雰囲気や景観を壊すので留意してほしい。	バリアフリーの整備にあたっては、自然との調和の可能性も含め、検討していきたい。

No.	主な意見、質問等	区の考え方
16	安全・安心を優先しすぎると、哲学公園内での子どもたちの活動の幅を制限することになると考えるが、どうか。	利用者の安全・安心に配慮しつつ、子どもたちの目線に立って整備を進めることも検討課題としたい。
17	管理棟は老朽化しているとのことだが、利用者の利便性を考えた整備にしてほしい。	管理棟について現在の場所での建て替えあるいは改修を検討している。
18	売店以外にもカフェを設置したり、特産品を創出したりしてほしい。	名勝であるため、新しい施設を園内に作ることは難しいが、哲学堂公園と結びついたグッズ類等の販売の要否について、研究していきたい。
19	文化財の修繕の際には、経費面だけではなく、事業者の経験なども考慮してほしい。	文化財の修復には専門的な知見や経験が必要であり、その点は今後も留意していく。
20	哲学堂公園の哲理門にある天狗と幽霊像の複製、水色に塗ってしまった橋、中野通りから丸見えのさくらの広場のトイレなど、景観を意識していない取組みがある。今後は文化的価値を向上するようにしてほしい。	今後の整備については、景観・文化的価値に配慮したうえで改修や修復をすることが基本になっており、その点に留意していく。
21	哲学堂公園に行きづらいのは、「怖い」「難しい」という印象があるからかもしれない。子どもたちにもっと哲学堂公園を知る機会を与えてほしい。そして、自然の中で子どもたちが学べる空間にしてほしい。	多くの子どもたちに「行ってみたい」と思わせるような工夫を考えていきたい。
22	「哲学」にちなんだ講習会や勉強会、茶道教室など、イベントのために場所をもっと開放してほしい。静かな環境の中で、学生、生徒や児童が学びに活用できるようにしてほしい。	現在、絵本のよみきかせや講習会、写真教室などのイベントを行っている。哲学堂公園は社会教育の場であり、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層が学びの場として活用できる取組みを模索していきたい。

No.	主な意見、質問等	区の考え方
23	今回、保存活用計画を策定するということが、哲学堂公園は現状、あまり活用されていないように思う。保存しながら活用を行うことが望ましく、その意味で古建築物の公開の機会を増やしてほしい。	文化財保護法の改正を受け、文化財の「活用」にも重きを置いた方向性を示した計画としていく。
24	哲学堂公園の保全にあたり、費用がかかるのであれば、有料化なども検討してはどうだろうか。ただ見て歩くだけではなく、哲学を学び、瞑想ができる場を設けてほしい。	ご意見として参考にさせていただく。
25	世界でも類を見ない珍しい哲学をテーマとした公園であるが、その哲学は分かりづらいので、ガイドの養成をしっかりと行ってほしい。	保存活用計画では人材の育成も目指しているところである。来園者には哲学堂公園の魅力を知ってもらい楽しんでもらえるような工夫を行っていきたい。
26	国名勝に指定された範囲には、スポーツ施設も含まれている。文化財とスポーツ施設、これらを何らかの工夫によって結びつけると、よりユニークな公園になるのではないか。方向性を明確にしてほしい。	哲学堂公園のスポーツ施設は円了の嫡子である玄一が社会教育の場として設けたものであり、この点も含め評価され、国名勝に指定された。この経緯を含め、活用の方向性を模索していく考えである。
27	哲学堂公園の保存活用に留まらず、来街者を中野駅周辺から哲学堂公園へと導くような仕掛け、区のさまざまな施設や、施設内に設置されているサインとの関連付け等があればと思う。	地域資源としての活用という点で、他の地点から哲学堂公園へと来街者を誘導することは大事な視点であると捉えている。
28	オリンピックに向け、外国人観光客を哲学堂公園にも呼び込むという計画があったが、哲学堂公園を利用するのは基本的に近隣住民である。貴重な自然を維持し、環境に配慮しなければならないと考えるが、どうか。	環境に対する配慮の点もふまえ、維持管理に努めていく。
29	哲学堂公園関連のイベント情報の把握がづらい。	情報の発信方法は、今後の検討課題としたい。

No.	主な意見、質問等	区の考え方
30	情報発信として、SNS、VRやメタバースなどを導入すると、哲学堂公園のことが身近に感じられるのではないか。	効果的な発信について、今後も工夫していきたい。
31	哲学の庭は中野区の財産であると思うが配付資料にある「著作権の許容範囲について協議する必要がある」とはどういう意味か。	哲学の庭の群像彫刻は、平成21年に中野区に寄付された。それらは中野区の財産ではあるが、著作権は公益財団法人ワグナー・ナンドール記念財団が有していることから、今後の協議の必要性について記載した。
32	野球場とテニスコートは哲学堂公園の多くを占めているが、配付資料には言及されておらず、検討委員会で検討しないまま計画を進めているように思われるが、どうなのか。	意見交換会での配付資料は概要であるため、記載が不十分だが、検討会の中では野球場とテニスコートの情報を示し、議論が行われている。円了の嫡子である玄一が社会教育のために設けた場所であり、保存活用計画でしっかりと位置づける予定である。
33	区が、今回の計画を策定するにあたり、途中の段階から意見をきちんと聞こうとする姿勢が伝わり、誠意を感じる。今回のような意見交換会であれば今後も参加したい。	計画策定にあたっては、今後も区民の皆さんのご意見に耳を傾けていきたい。
34	今回の保存活用計画は、七十七場の古建築物等を保存するだけでなく、緑も保全する、自然との調和が取れた内容となっており、地域住民の意向も汲み取った大変良いものができたと感じている。今後も、この計画に基づき、保存活用を進めてもらいたい。	哲学堂公園にあっては、文化財と自然との調和が大事であり、この点に留意し、保存活用を進めていきたい。